

## 市長と語ろう！笠間タウントーク 第10回 議事録

**開催日時** 平成21年8月21日（金） 午後7時～8時40分  
**開催場所** 大原小学校多目的ルーム  
**参加者** 市民 26人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. クールシュヴェール国際音楽アカデミーの予算について
2. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について
3. 「わかりやすいかさまの予算」の企業会計の市立病院について
4. 市の執行部と市議会の連携について
5. 友部駅北側の整備について
6. 市内の開業医と市立病院の連携について
7. 合併後、市が力を入れてきたことは何か
8. 区長回覧が多いので月2～3回にしてほしい
9. 子どもたちの安全のために道路の整備をしてほしい
10. 大原小学校近くの通称どんぶり坂の排水整備について
11. 防犯灯の設置基準がわからない
12. 転作について
13. 県道杉崎友部線を早期に整備してほしい

### 《内容》

1. クールシュヴェール国際音楽アカデミーの予算について

#### 【意見等1】

友部町から継続してクールシュヴェール国際音楽アカデミー事業を行っていると思うが、予算はどれくらいかかっているのか。

#### 【回答1】

市の負担は350万円くらいです。後は寄付をいただいて、トータル的に3000万円ほどの事業です。

#### 【意見等2】

それだけ投資して、笠間市で利用している人はほとんどいないと聞いているが、実際はどうなのか。

#### 【回答2】

この事業は、ヴァイオリンとピアノの講習会で、世界的に有名な講師を招いて、その講習を受け、世界の中で飛躍していくという事業です。小学生から20代くらいの方が対象で70人前後の生徒がいる中、笠間市の方は1～2人です。

合併前から始まって、先の3月でちょうど5回目です。確かに市民の方の参加があるに越したことはありませんが、笠間市の子が参加していないからといって、笠間市の文化の向上、音楽に関心をもっていただくという意味では、役に立っていると思います。例えば、街角コンサートや講師コンサートは市内各地で行われており、多くの方に参加をいただいています。また、音楽に関心のある方にも、高い評価を得ています。

イベントとして必要なものだと位置づけています。

#### 【意見等3】

参加者の宿泊で経済効果があると思うが。

#### 【回答3】

参加者70名の中には小さなお子さんもおおり、保護者の方も来ます。市内に泊まっている方もいるし、水戸に泊まっている方もいます。1週間ほど滞在しますので、そういった経済効果もあると思います。

#### 【意見等4】

大変難しい、苦勞をしている回答だと思うのだが、事業の効果を考えると、大したメリットは笠間市内ではないと思う。

**【回答4】**

大勢の中には、そう捉える方がいるのも当然ですし、必要だからもっと拡大したらどうかという意見もあります。市としては、年々定着していますので、継続したいと考えています。ただ、寄付をいただいで運営していますので、景気がこのような状態だと、集めるのに苦労は多いと思います。

2. 緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について

**【意見等1】**

緊急経済対策地域コミュニティ助成事業について事前質問をしたが、申請が多く、抽選になるか考えていると回答にあるが、どのように考えているのか、できるところまで回答願いたい。

**【回答1】**

回答文書は8月19日現在で作りましたが、今日（8月21日）が締切日で、予算枠5千万円に対して、7千600万円の申請がきています。今回の申請の中には、即環問題に直結するトイレの改修などが多く、各区長さんには地元の要望を取りまとめるのに非常にご苦労をされたことと思います。予算をオーバーした場合は、当初は抽選と考えていましたが、9月の議会で補正予算として前向きに考えたいと思っています。まだ断定はできませんが、何らかの措置をする方向で考えています。

**【意見等2】**

私たちの区は第1号で申請したので、順番に取り扱ってもらいたい。区会を開き、私の提案で申請をしたので、申請が通らなかった場合、区内での立場がない。

**【意見等3】**

事前質問9番で、緊急経済対策交付金の決定の通知が来るとあるが、間違いなくお願いしたい。9月下旬に敬老会があり、使いたい。

**【回答2】**

9月上旬までに決定して、通知は差し上げたいと思います。オーバーした部分については、前向きに考えたいと思います。

3. 「わかりやすいかさまの予算」の企業会計の市立病院について

**【意見等1】**

「わかりやすいかさまの予算」17ページの病院事業で、病院の収入も含めて4億9千万円の赤字ということか。

**【回答】**

市立病院への一般会計からの繰り入れは約9千万円くらいです。

**【意見等2】**

では、出る方だけの金額が書いてあるということか。あまり意味がないのでは。結果がどうなのか知りたいと思う。

4. 市の執行部と市議会の連携について

**【意見等】**

国政のマニフェストは、自立性に欠ける政策に見えると思うが、笠間市はどのように施策に取り組んでいくのか。

また、議会と市の執行部の考え方にずれがあるのかどうか聞きたい。

**【回答】**

それぞれの選挙で各政党や個人がマニフェストを出しています。国に850兆円もの借金がある中で、財源をどうするかが一番関心があります。住民サービスでは、国や県より、市町村が窓口となっていくものが一番多いと思います。例えば、後期高齢者医療制度はスタートから1年と数ヶ月経って落ちついてきたところですが、A政党は見直し、B政党は廃止としています。政権がどう変わろうと地方自治体では継続すべきものはしっかりと行わなくてはならないと思っています。多少の変化があるのは当然で、全国民を対象とするような制度設計をしたからには、よりよい方向に変えていくことは必要であっても、廃止をして、また実施するようなことになれば、地方自治体に与える影響は大きいと思います。

少子高齢化で財源確保が一番の問題です。誰かが負担しなければ成り立ちません。働く世代だけに押し付けたら労働意欲がなくなるので、地方自治体でも議論をしますが、国にきちんと議論をしてもらいたいと思っています。

今回の緊急経済対策交付金は、地方自治体が独自に取り組めるように国から補助金ではなく、使途が自由に決められる交付金という形なので、ありがたいと思っています。議会と執行部の関係は、執行部が議案を提示して、議会が議決をします。今回の経済対策については、考え方は一致していると思います。

#### 5. 友部駅北側の整備について

##### 【意見等1】

友部駅が北側からも乗り降りができるようになった。せっかくできたのに、北側を利用する人が少ない。北側の利用者が増えるように土地の用途指定などをして、JRに確信を持たせ、JRにもっと負担してもらえばよかったのではないかな。

笠間市が均衡ある発展をしていくためにも、北側は国道50号があり、西側には北関東自動車道のインターがあり、いい場所にあるはず。住む場所、働く場所の確保のため、農用地除外をしてもいいのではないかな。地元の方や市の考えを聞きたい。

##### 【回答2】

北口の利便性を高めるためには、道路網の整備が大事だと考えています。今年度中には、友部駅北線ができる予定です。また、県道杉崎友部線の一部が狭いので、早く拡幅したいと考えています。小原神社付近の道路整備にも関わってきますので、県とよく協議をしているところです。その後、土地の有効利用などの話が地元から出てくると思っていますので、地元とよく意見交換をしていきたいと思っています。

友部駅北口には市の土地もあり、周辺にも市の土地がありますので、有効活用を考えていかなければならないと思っています。

##### 【意見等2】

農用地除外の話に触れたのだが、駅北側鴻巣踏切近くに広い畑がある。そこが農用地になっている。駅に近いので、ぜひ、農用地除外してほしい。

##### 【回答2】

地元の意向を聞いて、よく検討したいと思っています。

#### 6. 市内の開業医と市立病院の連携について

##### 【意見等】

先ほど市長から市立病院の医師不足の話があったが、例えば、開業医を休みにして、市立病院で勤務する日を設けるなど、市内の開業医と市立病院が連携をとってはどうか。

##### 【回答】

今提案があったように、例えば開業医の先生に、週に1回、市立病院に来てもらって診療してもらおうという考え方もあるかと思いますが、なかなか開業医の先生たちも精一杯のところがあり、医師不足で難しいのが現状です。

#### 7. 合併後、市が力を入れてきたことは何か

##### 【意見等1】

市長は任期4年目を迎えている。合併していろいろあったが、市長として力を入れてきたことは何か紹介してほしい。

##### 【回答1】

難しい質問で、何に力を入れてきたかと言われれば、「全部に力を入れてきた」と答えるのですが、市長になってみて、笠間・友部・岩間と同じ行政体なので、大きな変わりはないかと思っていましたが、自治体によってお金の使い方が、非常に違っていたということがありました。独自の制度もそれぞれにありました。3地区の意識的な垣根をどう取り払うかがいつも頭にあります。3地区に格差をつけて取り組みをしてきたつもりはありませんが、市民の皆さんは、「隣の芝が青く見えてしまう」のか、旧市町の地区のことに目が行きがちになっています。一つの笠間を市民の皆さんに理解してもらい、考えてもらいたいと取り組んでいるのですが、時間がかかります。

##### 【意見等2】

笠間市は観光都市であると思う。市にお願いするばかりでなく、住民でできることを考えた。例えば、市内の小中学校単位で「〇〇8景」というスポット考えてもらい、それを市報などで紹介してはどうか。他の地区の勉強になると思う。住民でできるようなことは、市で指導してはどうか。回答は知らない。

## 8. 区長回覧が多いので月2回にしてほしい

### 【意見等】

区長をやっている。毎月3回文書が回ってくる。一回終わると「またきたか」という感じである。中には、回す必要があるのかというようなものもある。水戸市は月に2回だと聞く。3回から2回にしてほしい。

### 【回答】

区長さんにはご協力をいただいています。

配布文書の中に「回す必要があるのかというようなものもある」ということですが、市民の皆さんには、文書を出さないと「情報がないのではないか」とご指摘を受ける場合もあります。どの辺りまで情報を出すのか、インターネットなどもあります。現在の段階では、紙ベースでお知らせしないと周知できないことが多々あります。例えば、先日の選挙の際、区長さんには広報用うちわの配布などご苦勞をおかけしていますが、笠間と友部・岩間地区では選挙区が異なり、混乱をきたしている状況なので、どうしても配布が必要な状況でした。周知が必要なことがまだまだあるので、もう少し時間をいただき、市民の皆さんの共通理解も増えれば、水戸のように月2回になることもあると思います。

### 【意見等2】

内容ではなく、回数を聞きたい。

### 【回答2】

回数を少なくする方法をいろいろ考えてみたのですが、地区によっては、班が大きいところと小さいところがあります。班が大きいところでは、回覧するのに時間がかかることもあります。

どこまで住民の皆さんに周知するかはなかなか難しいです。今やっている回数で今年度はやってやっていきますが、今後は区長会の意見なども聞いて検討していきたいと思います。

## 9. 子どもたちの安全のために道路の整備をしてほしい

### 【意見等】

子どもたちの安全という面で、交通事故を一番心配している。地域を見ると道路事情がとても悪い。歩道がほとんどない。小原地区は大型車のすれ違いもなかなかできないような細い道路がある。通勤時間と重なり、子どもたちは非常に危険な思いをして通学しているので、道路事情の改善を真っ先にやってほしい。

また、冬場の日が短いときには外灯がなく、非常に暗い。もう少し整備してほしい。

### 【回答】

全体的な話ですが、学校の周辺については要望を多くいただいているので、順次進めていきたいと思っています。

防犯灯についても要望が非常に多く、新設と合わせて、明るい省エネタイプへの更新を積極的に行っていきます。行政区で設置するものと、人家が周辺になく市が直接設置するものがありますが、行政区で設置するものは電気代など維持費の関係もありますが、継続的に設置を進めていきたいと思っています。

## 10. 大原小学校近くの通称どんぶり坂の排水整備等について

### 【意見等1】

①子どもたちの通学路になっている大原小学校前の通称どんぶり坂が、先日のゲリラ豪雨で水没してしまい、土も流れ込んでドブのような状態である。市役所で早急に対応してもらったが、耕作放棄地も増えていて、水路は学校から流れる汚水のU字溝しかない。水の抜ける道がないので、子どもたちの長靴では埋まってしまうぐらい土が溜まってしまっている。改善してほしい。

体育倉庫の南側で、アスカーブがなく土手が崩壊しているので、検討をお願いしたい。

②また、南友部・大田町地区から20名近い生徒が大原小学校に通っている。子どもたちの居場所として、6区の住民の方に協力をいただき、地区の公民館を使用しているが、細かい問題も出てきている。使えないわけではないが、地区外の人も自由に気兼ねなく貸してもらえるようなシステムを行政でも考えてほしい。これから生徒が増えればそういう問題もでてくると思う。

### 【回答①】

できれば大きな排水を抜ければいいのですが、それだけの横断では済む話ではなく、排水を下まで通

さなくではならないので、できるだけ早く通れるよう対処はしました。小さい排水を入れても意味がないので、時間がかかります。

**【回答②】**

地区の区長さんに、要望をお伝えします。

1 1. 防犯灯の設置基準がわからない

**【意見等】**

防犯灯の設置で、地区で付けるものと市で付けるものと、はっきりしない。どんな基準でやっているのか。例えば、申請を出してもぜんぜん、らちがあかないということもある。説明してほしい。

**【回答1】**

市民活動課の管轄になるのですが、集落と生活道路が一体となった箇所は、地区での設置をお願いし、集落と集落をつなぐ幹線道路や市道、家がない箇所からおおむね200メートル離れている場合は市が付けるということになっています。市民活動課でも区長さんにこのように説明していると聞いています。

基準はあるのですが、はっきりと線引きができない状況もあります。弾力的に運用していきたいと思っています。

1 2. 転作について

**【意見等】**

小原で集落営農をやっている。笠間・岩間地区の転作が80%程度だと聞いている。合併して、全体計算になり友部地区の転作割合が上がり、3年に1回の転作では回らなくなった。友部地区は転作達成率が高かったのに、それなりのメリットは考えているのか。

**【回答】**

減反では、友部地区が110%を超えています。笠間地区が95%程度、岩間地区が80%後半だと思います。笠間・岩間地区のパーセンテージを上げないと、一生懸命やっている友部地区に影響がでますので、合併してから笠間・岩間地区のパーセンテージを上げる努力はしており、以前よりは上がってきています。100%達成できるようにこれからも取り組んでいきたいと思っています。

達成していることが、補助の優先順位などに影響してきます。制度としてある以上はしっかり達成していきたいと思っています。

1 3. 県道杉崎友部線を早期に整備してほしい

**【意見等】**

小原神社周辺の道路の拡幅について、より一層協力をお願いしたい。早く南友部の拡幅工事を終了させて、小原土地改良区のバイパスを県に着手させるように、強力な推進を市をお願いしたい。

**【回答】**

一生懸命やります。